

「令和6年度病虫害発生予報第6号」の発表について

○向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 豆類では、吸実性カメムシ類の発生が、北東北、北関東、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ オオタバコガの発生が、東北、関東、北陸、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹カメムシ類の発生が、南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稻のセジロウンカ等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等进行分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう 1 か月の予報（8月1日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、北日本、東日本太平洋側、西日本太平洋及び沖縄・奄美でほぼ平年並、東日本日本海側及び西日本日本海側で平年並か少ないと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html （外部リンク）

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	いもち病	北海道、北東北、四国	甲信、東海、北九州
	コブノメイガ	四国	北東北、東海、近畿、中国、九州
	ごま葉枯病	北陸、東海、四国	中国
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	北海道、南関東、北陸、四国	甲信、東海、近畿
	セジロウンカ	北海道、北東北、南関東、北陸、東海、近畿、四国	中国、北九州
	ツマグロヨコバイ	北陸、四国	南関東、近畿、南九州
	トビイロウンカ	四国	東海、近畿、九州
	フタオビコヤガ	東海、北九州	
	斑点米カメムシ類	東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、北九州	甲信、南九州
	紋枯病	東北、南関東、北陸、四国	北関東、甲信、東海、近畿、中国、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県、山形県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県及び大分県から注意報が発表されています。本虫は、多くの種が水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。被害の程度は、出穂期、水田への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

また、水田周辺の除草は本虫の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。

・**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく、不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、近年、発生の増加や減収被害が報告されています。本虫は、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、穂揃い期以降ではなく、出穂期に防除することが重要です。本虫の発生が増加傾向にある地域では、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、本田での発生状況を注視し、収量の確保に向け、効果の高い薬剤による出穂期の防除を実施してください。

<参考>

令和6年の水稻生産における害虫防除について

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/suitou_bouzyo/attach/pdf/index-6.pdf

豆類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	吸実性カメムシ類	北東北、北関東、北陸、東海、中国	近畿
	紫斑病	北東北	北陸
	フタスジヒメハムシ	北東北、北陸	
	マメシンクイガ	東北	北海道

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・吸実性カメムシ類の発生が、北東北、北関東、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、富山県から注意報が発表されています。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類	北関東、北九州	
	うどんこ病	中国	近畿、北九州
	炭疽病	北関東、四国、九州	中国
	ハダニ類	南関東、九州	北関東、北陸
きゅうり	アブラムシ類		南東北、南関東、甲信
	炭疽病	四国、北東北	
トマト	アザミウマ類	東北	甲信
	コナジラミ類	関東	南東北、甲信、北陸、南九州
なす	アザミウマ類	南東北、南関東	北陸、東海、南九州
	ハダニ類	南関東	北関東、北陸、近畿
ねぎ	アザミウマ類	東北、南関東、四国、北九州	北東北、甲信、北陸、東海、近畿
	黒斑病	南関東、南東北	北東北、中国、北九州
	ネギハモグリバエ	南東北	南関東
アブラナ科共通	コナガ		北海道、甲信、北陸、近畿
きく	アザミウマ類	南東北、東海	
	ハダニ類	東海	南東北、北関東、甲信、中国
作物共通	オオタバコガ	東北、関東、北陸、東海、南九州	北海道、甲信、近畿
	シロイチモジヨトウ	関東、四国	南東北、北陸、東海、近畿
	ハスモンヨトウ	北東北、南関東、北陸、東海	北関東、近畿、中国、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・オオタバコガの発生が、東北、関東、北陸、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されており、三重県から注意報が発表されています。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、適期に防除を実施してください。結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	カイガラムシ類	北陸	南東北、東海、四国
	ハマキムシ類	東海	中国、北九州
かんきつ	アザミウマ類	北九州	東海
	かいよう病	東海、中国、九州	四国
	黒点病	東海、四国	九州
	そうか病	東海、中国、四国、南九州	近畿
	ハダニ類	北九州	近畿、中国、四国、南九州
なし	黒斑病	中国	近畿
	シンクイムシ類	南関東、北陸	北関東、東海、中国、北九州
	ハダニ類	北関東、北九州	南東北、南関東、中国
	ハマキムシ類	北陸	中国
ぶどう	べと病	北東北、北九州	北陸
もも	シンクイムシ類	北陸	近畿、中国
	ハダニ類		南東北、北陸、東海、中国
りんご	シンクイムシ類	北東北、東海	
	ハダニ類	北東北	南東北
	斑点落葉病	北東北、北関東	南東北、東海
果樹共通	果樹カメムシ類	南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州	北東北
茶	アザミウマ類	東海、南九州	南関東、近畿
	炭疽病	九州	近畿
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	南関東、東海、北九州	近畿、南九州
	ハダニ類	東海、南九州	南関東、近畿、北九州
	ハマキムシ類		南関東、近畿、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹共通

・果樹カメムシ類の発生が、南東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、広島県及び鳥取県から警報、福島県、新潟県、福井県、京都府、大阪府、徳島県、熊本県及び宮崎県から注意報が発表されています。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、餌を求めて園地を移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では当年世代の発生量に注意が必要です。

本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。また、果樹カメムシ類は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。

<参考>

果樹カメムシ類の防除について

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/attach/pdf/index-33.pdf>

果樹カメムシ類の被害にご注意ください（生産者の皆様へ）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/attach/pdf/index-34.pdf>

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和6年7月23日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月26日	広島県	果樹全般 (なし、かんきつ、りんご、かき、ぶどう等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)
7月26日	鳥取県	果樹全般	果樹カメムシ類

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月23日	富山県	水稻	斑点米カメムシ類
7月23日	北海道	水稻	アカヒゲホソミドリカスミカメ
7月23日	北海道	水稻	いもち病
7月24日	京都府	水稻	斑点米カメムシ類
7月24日	京都府	果樹全般	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)

発表月日	都道府県	対象作物	対象病虫害
7月25日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ・ アカヒゲホソミドリカスミカメ)
7月26日	広島県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ・イネカメムシ・ クモヘリカメムシ等)
7月26日	鳥取県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ・クモヘリカメム シ・ホソハリカメムシ・トゲシラホシ カメムシなど)
7月26日	熊本県	果樹全般 (カンキツ、ナシ、ブドウ等)	果樹カメムシ類 (主にチャバネアオカメムシ)
7月30日	福島県	果樹類	果樹カメムシ類
7月30日	和歌山県	カキ	カキ炭疽病
7月30日	富山県	ダイズ	吸実性カメムシ類
7月30日	大分県	ピーマン	アザミウマ類 (ヒラズハナアザミウマ・ ミカンキイロアザミウマ)
7月31日	岩手県	水稻	斑点米カメムシ類 (特に、アカスジカスミカメ)
8月1日	新潟県	果樹(かき、なし等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ・ ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)
8月1日	宮崎県	果樹全般 (かんきつ類、かき、なし)	果樹カメムシ類 (ツヤアオカメムシ・ チャバネアオカメムシ)
8月1日	宮崎県	茶	炭疽病
8月2日	兵庫県	水稻	斑点米カメムシ類 (イネカメムシ・ミナミアオカメムシ・ クモヘリカメムシ等)
8月2日	三重県	野菜類・花き類・大豆	オオタバコガ
8月2日	島根県	水稻	斑点米カメムシ類
8月2日	高知県	水稻(普通期稲)	イネいもち病(穂いもち)
8月2日	高知県	水稻(普通期稲)	トビイロウンカ
8月2日	静岡県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ・アカヒゲホソミ ドリカスミカメ・ミナミアオカメムシ・ イネカメムシ等)
8月2日	静岡県	温州みかん	黒点病
8月2日	静岡県	温州みかん、中晩柑類	かいよう病
8月2日	大阪府	水稻	斑点米カメムシ類
8月2日	大阪府	果樹全般 (かき、みかん、ぶどうなど)	果樹カメムシ類
8月2日	大分県	普通期水稻	斑点米カメムシ類
8月2日	徳島県	普通期水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ・アカヒゲホソミ ドリカスミカメ・クモヘリカメムシ・ホ ソハリカメムシ等)
8月2日	徳島県	さつまいも	シロイチモジヨトウ

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月2日	徳島県	果樹全般（特に、カンキツ類、カキ、キウイフルーツ）	果樹カメムシ類 （チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ）
8月2日	愛知県	水稻（早生及び中生品種）	イネカメムシ
8月6日	福井県	－	果樹カメムシ類

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月2日	群馬県	－	トマトキバガ

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法の改正により、新たに重要病害虫発生時の通報に関する規定が追加されました。我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

（地域）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

（参考）今後の発表予定日

第7号：令和6年9月11日（水曜日）

第8号：令和6年10月9日（水曜日）

第9号：令和6年11月13日（水曜日）

第10号：令和7年3月12日（水曜日）

（参考）これまでの発表

第1号：令和6年4月17日（水曜日）

第2号：令和6年5月15日（水曜日）

第3号：令和6年6月12日（水曜日）

第4号：令和6年7月10日（水曜日）

第5号：令和6年7月24日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、河合

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382